

# Phonics Rhyme

フォニックス ライム



ミントアプリケーションズ株式会社  
Mint Applications CO., Ltd.

〒370-0013 群馬県高崎市萩原町 950 - 31  
電話 FAX 027-353-1091 担当: 田淵龍二  
サイト <http://www.mintap.com/>  
メール [mint\\_home\\_school@mub.biglobe.ne.jp](mailto:mint_home_school@mub.biglobe.ne.jp)



## 学習目的

### 音から入るフォニックス

このフォニックスライムは、英語の発音とリズムに親しみながら、単語や文章が読み書きできるようになることを目的とした音声教材です。語学の前提となるリスニングとスピーキングを鍛えながら、リーディングとライティングを習得します。文字の提示に連動した模範音声にあわせて唱和しながら学ぶことで、発音と綴りを同時に習得していきます。朗読マザーグースと併用すると効果的です。

### 従来のフォニックスとの違い

このフォニックスライムは、フォニックスの規則を教えるためのものではなく、フォニックスの規則を利用しながら覚えやすいように、唱和しやすいように配列された単語をリズムカルに発話することで、発音と綴りの関係についての自律的な理解を促進するように作成された音声教材です。アルファベット1つずつの読み方から単語を読むと言うよりは、ライム(脚韻)やシラブル(音節)から、ワード(単語)の読み方と綴り方が身につくように工夫してあります。音声あつての文字と言う考えを貫いた教材です。

### 収録タイトルのスタイルと課題

	名前	内容	課題
1	Card	1 単語 1 枚の絵カード	音と意味の提示
2	Tri-Card	3 単語 1 枚の絵カード	音と意味の定着
3	List	6 ライム 18 単語による音韻	ライムによるリズムカルな発話
4	Text	ライムを使った文章	文の中での発音

### 収録概要

単語数	288 個
脚韻数	96 種
レッスン	16 課
挿絵	384 枚

### 単語の長さ

3 文字単語	81 個	6 文字単語	7 個
4 文字単語	149 個	7 文字単語	2 個
5 文字単語	48 個	8 文字単語	1 個

### 母音

#### 母音文字の種類

#### 母音の種類

1 文字母音	186 個	短母音	123 個
2 文字母音	102 個	長母音	165 個

### 子音

#### 子音(onset)の種類

#### 子音(coda)の種類

なし	1 個	なし	42 個
1 文字子音	220 個	1 文字子音	120 個
2 文字子音	55 個	サイレント e	63 個
3 文字子音	10 個	2 文字子音	57 個
その他	2 個	3 文字子音	3 個
		その他	3 個

### 製作・著作

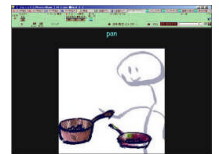
絵 Bac Rojin  
監修 阿部フォード恵子、マイク・キャネヴァリ  
編集著作 田淵 龍二

## レッスンの流れ

### 1 Phonics Rhyme Cards

最初に Phonics Rhyme Cards を使って、これから使う 18 個の単語を紹介する。音と意味を刷り込むのが目的。

また、単語の音声と文字(綴り)と画像(意味)を同時に提示することで、学習への心構えが形成される。画像は一目見て意味がわかるようにしていますが、講師の指さしや動作を加えることができれば、生徒の理解度が格段に向上します。



### 2 Phonics Rhyme Tri-Cards

次に Phonics Rhyme Tri-Cards を使って、同じ Rhyme を持つ 3 つの単語をテンポよく唱和する。

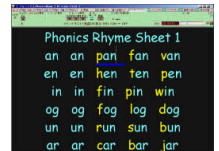
Rhyming word family の最初は「an」のように、母音で始まり子音で終わる韻の部分だけを 2 度繰り返してから同じ韻を持つ単語が続く。Phonics Rhyme Cards で習った単語の音と意味の定着を促進しながら、同時に、次のステップである Phonics Rhyme Sheet への以降を準備するものです。



### 3 Phonics Rhyme Sheet (List)

そして Phonics Rhyme Sheet を使って、リズムカルに発話する。はじめのうちは模範音声を 1 行ずつ再生しながら生徒に唱和させる。

慣れてきたら模範音声といっしょに唱和。もっと慣れてきたら冒頭のライム(脚韻)の部分だけの音声を聞かせて、その後ろに続く 3 つの単語を自立的に発話するように促します。



### 4 Phonics Rhyme Text

最後に Phonics Rhyme Text を使って、文章の中にある単語を読む練習をする。はじめは赤字の単語(このレッスンの課題単語)をきちんと自力で読めるようにする。

できるようになったら青字の単語(このレッスンの応用単語)に挑戦。黒字の部分を講師が読み上げて、赤字や青字のところに来たら声を消して生徒に読ませるのがいいでしょう。緑色の単語は、すでに習った単語やライム。



### 5 トレーニング

発話が一通り終わったら、「カルタ取り」や「言葉あて」、「ディクテーション・ライト」を使ったゲーム感覚の演習(聞き取り、読み取り、書き取り)に生徒を参加させて達成感を演出しながら、同時に理解度を確認するとよいでしょう。

